

Vol.227 CONTENTS BRIEFING

～本号記事の概要説明～

協会動向 P3

「2023 年度 賛助会員幹事店会」開催

本年の「賛助会員幹事店会」はメーカー様 12 社の幹部の方と日食協政策委員会委員をはじめとした卸企業幹部 9 名の参加によって開催され、前年と同様に「持続可能な物流の構築に向けた課題解決状況」をテーマとして取り上げました。メーカー各社の皆様からは、現在進められている物流対策と卸が要望している受注締め時間後倒しの対応について、それぞれの現状を共有していただきましたが、多くのメーカー様が前向きな対応を取られていることが確認され、有意義な会議となりました。メーカー各社様の発言骨子を掲載しておりますので、ご確認ください。

「商談支援システム説明会」開催

卸・メーカー間で見積情報・商品マスタ情報の授受をデジタル化し、フォーマットの共通化や自動変換・出力を行うことで様々な個別対応、重複作業を削減しサプライチェーン間の全体最適を目指そうとする「商談支援システム」ですが、その事業化を検討する協会内の分科会で一定の方向性が取り纏められたのを機に、その内容を広くメーカー各社に伝え、各社のニーズを聞き取るための説明会を実施しました。メーカーアンケート結果に加え、当該システムの内容を説明した資料も後段に掲載しましたので、併せてご確認ください。

「2023 年度 支部定時総会・幹事店会他」開催

本年度も昨年に引き続き、すべての支部総会がリアルで開催され、大半の支部が賛助会員メーカー様も参加されての総会開催となりました。各支部における 2022 年度の事業報告・決算報告、2023 年度の事業計画・収支予算が報告され、承認されました。本年度の支部役員名簿も併せて掲載しております。支部役員の皆様には大変お忙しい中、協会活動にご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしく願いいたします。

「フードディストリビューション 2023」開催

当協会が主催する「フードディストリビューション 2023」は9月20日から3日間、東京ビッグサイトで開催されました。協会としては「N-Torus」の周知を目的としたブースを展開するとともに、「持続可能な物流の構築にむけて」～メーカー・卸・小売 3 層間の協同ワーク～、と題したパネルディスカッションを企画しました。昨年まではメーカー・卸間の取組みをテーマに行っていましたが、本年は小売業からも「首都圏 SM 物流研究会」を代表して、ライフコーポレーションの渋谷様に出席をいただき、初めて3層のメンバーが揃ってのパネルディスカッションとなりました。そのパネルディスカッションの様子を報告すると共に投影した資料を掲載しておりますので、ご確認ください。

シリーズ「食品卸売業におけるSDGs対応について」(4) P20

「サステナビリティ研究会SDGs分科会」から毎号寄稿していただいている「食品卸売業におけるSDGs対応について」の第4回目は「プラスチック廃棄物削減について」です。「自然分解されないプラスチックは悪だ」という世界的な動きを受け、日本においてもその取組みが加速しています。ここでは「プラスチック資源循環促進法」の内容を踏まえ、企業が取組むべき内容について解説していますので、ご確認ください。

「令和4年度 食品産業における取引慣行の実態調査」について P28

例年、一般財団法人食品産業センターによって纏められている「食品産業における取引慣行の実態調査」の令和4年度版が、6月29日に公表されました。食品産業センター様よりその概要のご案内をいただきましたので、その内容を掲載しました。報告書の全文は、食品産業センターHPで公開されていますので、ご覧ください。

会報に関するご意見、ご指摘がございましたら、協会事務局までお寄せください。(nsk-nhk@nifty.com) 皆さまの声を会報編集の参考にさせていただきます。